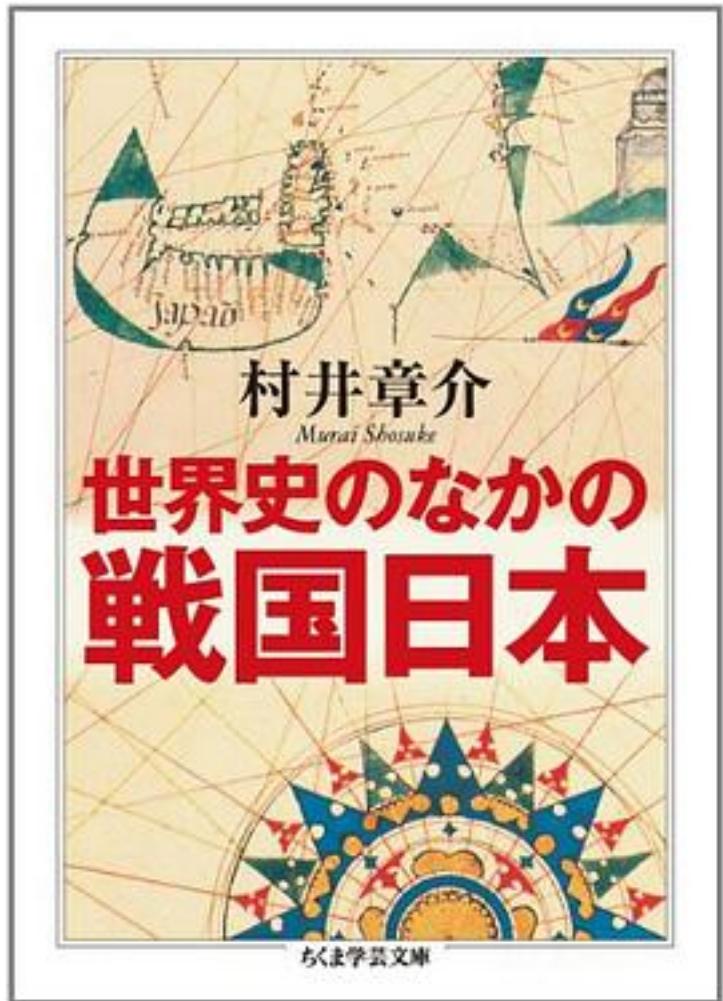


世界史のなかの戦国日本



[世界史のなかの戦国日本 下载链接1](#)

著者:村井章介

出版者:筑摩書房

出版时间:2012-4

装帧:

isbn:9784480094445

世界史の流れの中から日本列島を眺めると、意外な景色が浮かび上がってくる。群雄

割拠の中から織田・豊臣を経て徳川安政を生んだ戦国時代。しかし15、16世紀の日本では、商業圏の拡大という別の霸権争いが始まっていた。サハリン・沿海州貿易を手中に収めようと画策する蛎崎氏、東南アジアにまで及ぶ西南海貿易で富を築いた琉球王国とその座を狙う島津氏、南蛮貿易のためにおたずね者まで取り込む松浦氏、当時の世界基軸通貨=銀貨をめぐり暗躍する倭人ネットワーク…。地域史をより広い視点で理解する「グローバル・ヒストリー」の先鞭をつけた歴史学の名著。

作者紹介:

村井 章介(ムライ ショウスケ)

1949年、大阪市生まれ。東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。東京大学史料編纂所を経て、同大学院人文社会系研究科教授。文学博士。倭寇・貿易・海運・港町・漢詩・対外意識・政治思想などを扱いながら、日本列島周辺の9-17世紀を、広い「地域史」や「世界史」の文脈のなかで読み替えようと試みている(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录: 第1章 一六世紀、または世界史の成立; 第2章 蝦夷地と和人地; 第3章 古琉球の終焉; 第4章 ヨーロッパの登場とアジア海域世界; 第5章 日本銀と倭人ネットワーク; 第6章 統一権力登場の世界史的意味; 付章 島津史料からみた泗川の戦い一大名領国の近世化にふれて
・・・・・ (收起)

[世界史のなかの戦国日本 下载链接1](#)

标签

日本历史

””

评论

[世界史のなかの戦国日本 下载链接1](#)

书评

[世界史のなかの戦国日本 下载链接1](#)